

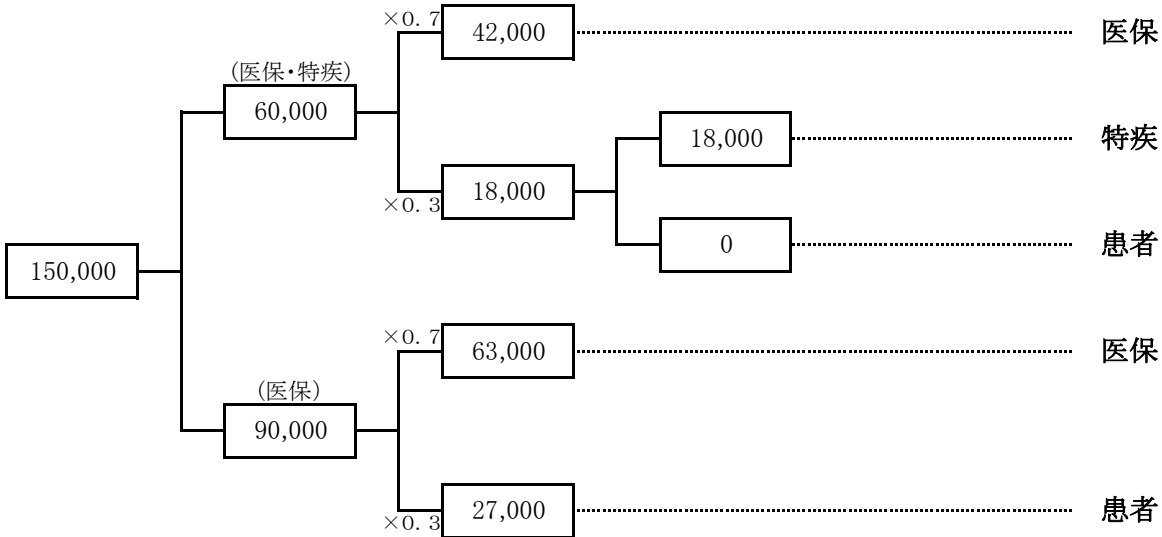
事例7 70歳未満本人入院外(一般所得)・公費(特定疾患)

国保

訪問看護療養費明細書										6 訪問	1 国	3 3 併	2 本人
-									-	保険者番号			
公費負担者番号①	5	1						公費負担医療の受給者番号①		保険 実日数 公費① 公費②			
公費負担者番号②	8	0						公費負担医療の受給者番号②					
氏名									特記				
職務上の事由									18 一般				
合計	請求 円	※ 決定 円		負担金額 円				※高額療養費 円					
	150,000												
	60,000			空欄		※公費負担金額 円		備考					
	150,000			9,000		※公費負担金額 円							

※ 高額療養費が発生しない場合 →「公費①」の51(特定疾患)の「請求」欄は、この事例では51対象部分(60,000)で分点が生じているので分点部分の60,000を記載、「負担金額」欄は当該患者に係る月額限度額を記載(0円の場合は、空欄とする)

[療養の給付]



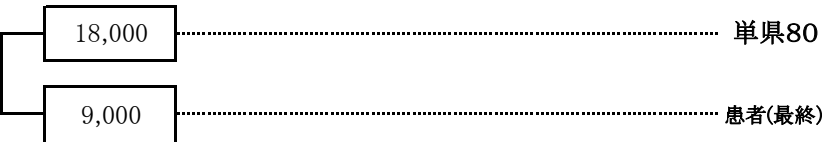
〈保険〉70歳未満 国保 定率3割

〈公費①〉51(特定疾患) (所得区分:一般) 月額自己負担限度額 0円

〈公費②〉単県80 定率1割 一般(一部負担上限額 12,000円)

合計	
医保	105,000 円
(高額再掲)	0 円
特定疾患	18,000 円
患者	27,000 円
単県80	18,000 円
患者(最終)	9,000 円

高額療養費



→単県80が患者負担を18,000円カバーし、患者の最終負担額は9,000円(医保医療費90,000円の1割)となる